

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	MRSA 菌血症に対するバンコマイシン治療における早期の目標 AUC 達成の有効性と安全性に関する検討
当院の研究責任者 (所属)	仲松 正司 (琉球大学病院 感染対策室)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	特にありません
本研究の目的	<p>バンコマイシン (VCM) はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 治療に対する標準的治療薬の一つです。VCM による MRSA 感染症治療の有効性と安全性の評価のためには血中濃度モニタリング (Therapeutic drug monitoring : TDM) を行い、TDM 結果を参考に VCM の投与量を調整しています。近年のガイドライン (2022 年抗菌薬 TDM ガイドライン) の改訂により、TDM の調整の目標値の変更 (薬物血中濃度のトラフ値から、血中濃度-時間曲線下面積 (AUC)) と投与方法の新たな推奨 (負荷投与) がなされました。しかしながら、このガイドラインに準じた用量調整や投与方法の有効性及び安全性に関する報告は少数となっています。</p> <p>そこで、過去に VCM での治療を受けた方の診療内容・経過を調査し、ガイドラインが推奨する用量調整・投与方法 (負荷投与と AUC を指標とした投与設計) の有効性と安全性を明らかにすることを目的に研究を行います。これにより、適切な VCM による治療方法が明らかになることが期待されます。</p>
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2023 年 6 月 30 日
調査データ(該当期間)	2017 年 1 月～2022 年 11 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 琉球大学病院へ入院され、MRSA 菌血症に対してバンコマイシン注射薬を投与された方。</p> <p>●利用する情報 診療情報：年齢、性別、診断名、VCM 治療内容、細菌検査情報、血液検査情報など。</p>

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>本研究では他の医療期間への情報提供の予定はありません。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>本研究で取得した情報は、別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し、研究機関の長の許可を得て行います。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>本研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所などの患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は一切使用しません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究では診療録を用いた研究のため資金の利用はありません。 本研究に関連した利益相反は、研究責任者・分担者いずれもありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原 207 番地 琉球大学病院 感染対策室 電話：098-895-3331 (内線：3380) 担当者：西山 直哉</p>
<p>備考</p>	